

## 1 地域ぐるみで、あいさつを交わせる環境をつくろう！

### あいさつとは相手の存在を認めること

あいさつは、単に「おはよう」「こんにちは」といった言葉を声に出すことではありません。相手の存在を認めていることを積極的に伝え、良好な人間関係を築くための相手を思いやる行為です。

自分があいさつをして、相手があいさつを返さないと不安に思うことがあります。これは、相手が「自分の存在を認めていない、自分のことをよく思っていないのでは?」と感じるからです。この「思いやりの心」の原点としてのあいさつを、大人も子どもも交わしていきましょう。

### 大人からのあいさつが大切

子どものあいさつ習慣を定着させるためには、周囲の大人からのあいさつが大切です。また、子どもが地域の人々とあいさつを交わすことは、子どもの地域への愛着を深める効果もあります。

家庭はもちろん、学校や地域でも、大人から積極的に声をかけ、地域を愛する子どもを育てていきましょう。

### あいさつで、子どもの安全を守ろう！

子どもは、不審者に出会った場合、「いかのおすし +1 (プラスワン)」を実践し、近くの人に助けを求めるよう、学校のセーフティ教室などで指導されています。

子どもが、助けを求めやすくなるには、地域の大人と子どもが顔なじみとなり、あいさつできる関係をつくるのが大切です。家族で、地域清掃やお祭りなど、地域の行事に参加し、あいさつを交わせる地域をつくりましょう。

### 防犯標語 いかのおすし+1(プラスワン)

知らない人に、ついて	い	か	ない
他人の車に	の	ら	ない
こわいと思ったら	お	お	ごえを出す
その場から	す	ぐ	にげる
おとなの人に	し	ら	せる
	+	(	プラス)
近くの人に	1	10	番通報をお願いする

家庭では、子どもが「110番通報をお願いします。」と言えるよう、指導をお願いします。

## 2 みんなで、子どもを見守ろう！

### 子どもの被害を防ぐ見守り活動

子どもを狙った不審な声かけ事案、公然わいせつ等が発生しています。被害の多くは、子どもだけで行動しているときや、人の目が少ない状況で起きています。

こうした被害を防ぐためには、地域での見守りが欠かせません。市内では、町会や自治会などの防犯ボランティア、学校安全ボランティア、青少年育成指導員など、様々な方々が、子どもを見守っています。

さらなる子どもの安全のため、これらの方々だけでなく、地域のみなさんが見守る目となり、地域の防犯力を高めることが大切です。

### みんなで「ながら見守り」をしてみよう！

仕事や子育てをしながら、防犯ボランティア団体等で活動するのは、少しハードルが高いとお考えの方には、各自のライフスタイルにあわせ、無理せずできる「ながら見守り」がおすすめです。

#### ながら見守り

- ウォーキング、ジョギング、買物、犬の散歩、水やり等の日常活動を行う際、防犯の視点を持って見守りを行うもの。
- 事業者が、日常の事業活動をしながらか見守りを行うもの。  
(登下校時の子供の安全確保に関する関係閣僚会議(2018)『登下校防犯プラン』参照)

ながら見守り活動中に、犯罪や不審な行動を目撃したり、子どもから助けを求められたりしたら、自らの安全を確保したうえで、110番通報しましょう。

### 見守りに役立つサービスを活用しよう！

#### 警視庁防犯アプリ「Digi Police (デジポリス)」

見守り活動に役立つ機能が盛りだくさんのアプリです。

見守りパトロール機能	パトロールエリアの不審者情報等の犯罪情報が地図上で色分け表示され、パトロール・見守り活動の時間・軌跡を記録できます。
エリア通知機能	子どもへの声かけ事案、侵入窃盗などが多発しているエリアを通ると、タイムリーに情報を受け取れます。
ココ通知機能	スマホなどの位置情報機能を利用し、あらかじめ登録した人に「現在地」や「メッセージ」などの情報を通知できます。

この他、防犯ブザー機能、痴漢撃退機能、けいしちょうWeb教室など、子どもの安全に役立つコンテンツが満載ですのでダウンロードしてみましょう。

#### 八王子市「八王子市メール配信サービス」

犯罪・不審者情報に加え、防災情報といった、いざというときに役立つ情報も発信しています。SNSでも配信中ですので、登録してみましょう。

#### お役立ち情報

警視庁「防犯アプリ Digi Police」  
(デジポリスの詳細、ダウンロード案内等)



八王子市「防犯に役立つ情報の提供」  
(八王子市メール配信サービス、不審者対応マニュアル等)



## 3 保護者とインターネットの利用状況を確認しよう！

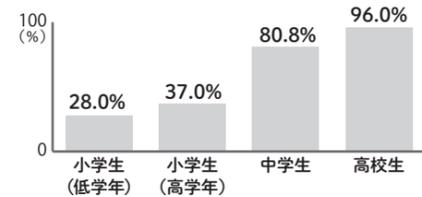
### 子どものインターネット利用時間が過去最長

スマートフォンの普及にともない、子どもにとって当たり前になったインターネット。コロナ禍をきっかけに、学習での活用が一気に増え、子どもの利用時間は、さらに伸びています。

子どもが「どれだけ使っているか?」だけでなく、「何に使っているか?」、長時間利用の中身にも着目し、把握することが大切です。



子どものスマートフォンの所有率 (令和3年度)



(東京都(2022)『家庭における青少年のスマートフォン等の利用等に関する調査』参照)



子どものインターネット平均利用時間 (平日1日あたり)



(内閣府(2022)『令和3年度青少年のインターネット利用環境実態調査』参照)

### 子どもと一緒に、使い方をコントロールしよう！

携帯電話事業者等が提供するフィルタリングサービスやOS事業者等が提供する機能・アプリを使えば、どのようなサービスをどれくらい使っているか、利用状況について確認できます。利用時間や就寝時間を設定すれば、無意識の使い過ぎも防ぐことができますので、活用しましょう。

これらを活用する際には、子どもと話し合うことが大切です。保護者と子ども、両者が納得したうえで、使い方をコントロールしましょう。

#### お役立ち情報

総務省「上手にネットと付き合おう～安心・安全なインターネット利用ガイド～」

フィルタリングサービスや機器の設定に関する情報が掲載。その他、SNS等による誹謗中傷など、ネットを取り巻く危険性をわかりやすく説明したインターネットトラブル事例集や携帯電話事業者、OS事業者の関連情報へのリンクなども。



東京都「こたエール」

ネット・スマホのトラブルについての相談  
月～土 15:00-21:00 日・祝日・年末年始  
0120-1-78302 ※メール・LINE相談あり



八王子市立中学校 PTA 連合会 制作動画  
「スマホを置いて会話を取り戻そう」  
「スマホとコミュニケーションと子ども」



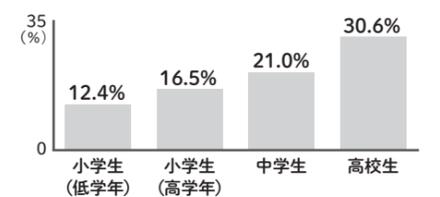
### 「わが家のきまり(家庭ルール)」をつくろう！

インターネットを利用するときの「わが家のきまり」はありますか? インターネットを取り巻く危険から子どもを守るためには、スマートフォン等を子どもに与える前に、家庭内で話し合っ、きまりをつくるのが大切です。

それぞれの家庭にあったルールをつくり、子どもの成長に応じてルールを見直すことで、少しずつ自律した使い方ができるようにしていきましょう。



子どもにスマートフォン等を与えている保護者のうち、家庭内での利用ルールについて、「作っていない」と回答した者の割合 (令和3年度)



(東京都(2022)『家庭における青少年のスマートフォン等の利用等に関する調査』参照)

### 💡 「わが家のきまり」をつくるポイント

- 家族全員が納得できるよう話し合しましょう。
- 日ごろから家族で「きまり」が守られているのかを確認し合い、守れている子どもをほめましょう。
- 守れなかった時の対応も話し合っておきましょう。
- 家族みんなが守れる「きまり」にしましょう。
- 子どもの成長に合わせて見直しましょう。
- 大人自身が、ネットの適切な使い方についての知識を深め、正しい使い方を子どもに見せましょう。

### 💡 たとえば、こんな「わが家のきまり」

- 食事中は使わない。
- SNSは、家族など本当に必要な相手に限り使う。
- トラブルがあったら保護者に相談する。
- 知らない人と直接会わない。
- 午後\_\_時以降は、使用しない。
- 毎日の利用は\_\_分まで。
- アプリのダウンロードは、保護者が確認したうえで行う。
- 名前や顔写真、学校名など個人が特定できる情報は書かない、のせない。
- 誹謗中傷は、絶対しない。
- 使用が禁止されている場所では使わない。
- 「ながらスマホ」はしない。

### 🚫 子どもをネット上のトラブルから守るのは保護者

子どもにインターネットを利用させる際の保護者の責務が法律で定められています(青少年インターネット環境整備法第6条)。

保護者には、インターネットの危険性を認識し、子どもの利用状況を適切に把握するとともに、フィルタリング等の方法により子どものインターネットの利用を適切に管理し、子どもが自らインターネットを適切に利用できる能力を身につけられるよう、教育する義務があります。